

1	審議会名	丸子地域協議会
2	日時	平成27年7月28日(火) 午後1時30分から午後5時30分まで
3	会場	丸子地域自治センター 4階 講堂
4	出席者	齋藤重一郎会長、丸山かず子副会長、池田佐代子委員、内田弘子委員、 小澤厚委員、久保田和英委員、清水三枝委員、下村晴一委員、関本吉人委員、 塚越洋子委員、西村勇委員、宮下正明委員、山岸嘉幸委員、横井優司委員、 吉池美智恵委員 【欠席委員5名】
5	市側出席者	谷仲丸子地域自治センター長、丸山丸子地域自治センター次長兼地域振興課長、 石井丸子地域教育事務所長兼地域政策課政策幹、高野市民サービス課長、 横井産業観光課長、芦田建設課長、竹花丸子・武石上下水道課長、 (説明者)神代健康こども未来部長、細川保育課長、唐澤保育担当係長、 中村総務課長、浅野文化振興課長、倉澤博物館長、宮澤危機管理防災課長、 (説明者は各説明終了後退室) (事務局)柳沢地域政策担当係長、清水統括主査、中山主査、竹花主査
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	2 記者 2人
8	会議概要作成年月日	平成27年8月17日

協議事項等

1	開会(丸山センター次長)
2	会長あいさつ
3	平成27年度わがまち魅力アップ応援事業(第2回募集分)選考審査 (1)事務局からの受付状況の報告 <ul style="list-style-type: none"> ・<審査番号1>申請団体名:オヤジ改造倶楽部 事業名:「ワインフェスタ」in 鹿教湯温泉 丸子を含む地元産のワインや地元食材を使用した料理を楽しみながら、コンサート等のイベントを実施するワインフェスタを開催するもの。 ・<審査番号2>申請団体名:荻窪生き生き体操 事業名:生き生き体操で元気な身体作り 地域体操を中心に、地域内のウォーキングや交流会、健康に関する講演会を開催するもの。さらに仲間づくりと生き甲斐作り。 ・<審査番号3>申請団体名:まるこベルシティまつり実行委員会 事業名:丸子ベルシティまつり 中丸子の旧カネポウ跡地:ベルシティを会場にイベント開催。地域の魅力発信事業。 ・<審査番号4>申請団体名:信州国際音楽村公園バラの会 事業名:信州国際音楽村公園花壇整備事業 信州国際音楽村公園の花壇を整備(バラ園)。バラ作りやバラの育て方教室等のイベント開催。地域に花と緑あふれる景観創出、市民や観光客の憩いの場の提供。
	(2)応募団体による事業説明(4団体) 説明10分 質疑応答5分
	(3)新規応募分選考審査(非公開) 傍聴及び報道関係者は一時退室。
4	協議事項 15:58頃~ (1)公の施設の利用について(総務課) <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年4月、「公文書の管理等に関する法律」が施行。各地方公共団体に、保有する文書の適正な管理に関して必要な施策の実施義務。上田市の公文書館を設置することが必要。 ・公文書館の設置場所:既存施設の有効活用を念頭に検討、丸子郷土博物館の一部を転用して公文書館を博物館と併設の案。 ・公文書館の主な機能:公文書の保存機能、保存した文書の利用普及機能(公開する機能)、公文書の適切な選別・保存・公開方法等について調査研究。

・公文書館設置の意義：市民の知る権利を保障と行政の説明責任、行政運営の透明性を確保し、効率的で公正な行政運営が図られるということ、行政と市民が情報共有による住民自治の一層の推進、市民が郷土である上田市の歩みを知る場。

・「上田市立文書館設置を求める請願」上田・東御・小県地域史連絡協議会から提出、平成 22 年 9 月議会で請願が採択。上田市立文書館の準備室の立ち上げ等。

・今年度、公文書整備基本計画を策定予定。

・丸子郷土博物館の一部転用（案）：1 階の第 1 展示室を博物館として残し、2 階の第 2 展示室、特別展示室、研究室及び収蔵庫を利用して公文書館を設置。

・以降、協議。

（委員）入館料についてはどう考えるか。

（行政）未定。博物館部分につきましては引き続き有料で、公文書館は情報公開ということで無料の方向になるか。

（委員）公文書館の設置施設は他にも候補があったか。製糸関係資料は他の施設へ移管ということですが、どこへ移管するのか。

（行政）丸子自治センター北側別棟、真田自治センター3 階、旧産院、その他立替予定の公民館など。耐震化等の考慮の結果、最終的に丸子郷土博物館の案に。現在の製糸関係の資料の移転先は、皆さんの意見を伺いながら検討する。文化会館、旧カネボウ食堂棟なども一案。

（委員）公文書の管理は非常に結構だ。今後の耐用の問題もあるのでデジタル化したらどうか。

（行政）市では平成 4 年から行政文書はマイクロフィルム化を実施。昔の手書きの公文書はやはり原本が大事。

（委員）郷土博物館に来館者が無いから縮小するというのですが、博物館そのものの意義をどういう位置付けにして縮小してしまうのか。特に丸子の歴史をどうするのかという部分はどう考えるか。

（行政）一階部分の展示資料、丸子地域の通史を紹介する第一展示室は残す。歴史博物館としての機能は維持される。

（2）丸子統合園建設について（保育課） 16:18 頃～

・統合を予定する 3 園：みなみ保育園、東内保育園、わかくさ幼稚園。いずれも定員は 70 名前後。建築年は昭和 45 年から 48 年で、建築後 40 年以上が経過し老朽化が進んでいる状況。

・平成 20 年度以降の 3 園の園児数の推移：平成 20 年度で 3 園の園児数の合計が 106 名、平成 27 年今年の 4 月が 108 名で 50%を若干上回る程度という状況。

・3 園の通園地区就学前児童数：平成 20 年 4 月で 497 名、平成 27 年 4 月で 398 名ということで、約 100 名減。率にして 20%、丸子地区全体で 10%程度の減。

・平成 20 年の 10 月、上田市保育検討委員会が、今後の保育のあり方について検討を行うために設置された。保育園の適正配置の提言あり。これを受けて、平成 23 年 3 月に上田市保育園等運営計画が策定された。

・上田地域で泉田保育園と小泉保育園を統合。現在、神川第一保育園と神川第二保育園の統合園建設計画を進めている。地元の関係する皆さんによる検討会議が自主的に組織された。

・上田市保育園等運営計画の考え方にに基づき、園児に対する適正な保育を実施するとともに、園運営の効率化、人員配置の適正化を図るためにわかくさ幼稚園敷地を候補地として新園舎を建設したい。

・統合園としては保育園。

・次の計画として、石井地区にあるちぐさ幼稚園、塩川保育園の統合。

・以降、協議。

（委員）統合も必要だが、区域ごとにある保育園などに母子が手をつないで通園するのも情操教育には理想的と思う。何がサービスなのかということをよく考えて、不足をどう補っていくかということを経営計画の中に盛り込んでほしい。

（行政）子育て支援センターなど、市全体の子育て支援施策の中で検討させていただきたい。

（委員）わかくさ幼稚園への道路が狭い。車で行くことが多くなる。道路の整備も含めてお考えか。

（行政）今後、周辺整備も検討する。

（3）上田市鹿教湯温泉国民宿舎鹿月荘及び上田市鹿教湯温泉健康センター（クアハウスかけゆ）の今後のあり方について（産業観光課）

・上田市鹿教湯温泉国民宿舎鹿月荘及び上田市鹿教湯温泉健康センターの今後のあり方について、協議会の意見をとりまとめ、来年 3 月 31 日までに意見書の提出を。

・鹿月荘とクアハウスかけゆの利用者数は、施設の老朽化が激しいため、維持管理に多額の費用を要

する状況。

・平成 29 年度が指定管理者の更新年度。市全体の公共施設等の総合管理に関する計画策定を進めており、平成 28 年度中に両施設の今後のあり方について決定をしたい。

・鹿月荘の 2 階の部分の左側が、クアハウスのプール部分になっている。外観的にも鹿月荘とクアハウスは一体的な建造物。

・鹿月荘の市民の利用状況は、平成 26 年度は 18.2%。ほとんどは県外の方の利用。利用料収入は、年によって増減があるが、全体としては 6 年間の中でも減少傾向。

・指定管理料は、23 年度までは収支の赤字分は市のほうからは支出なかったが、24 年度が 5,493,205 円、25 年度が 9,361,000 円、平成 26 年度は 11,009,000 円の支出。利用料収入だけでは賅えない状況。

・全体的にクアハウスの利用状況・利用料収入も減少傾向。クアハウスは、市民の利用が平成 26 年度でも 74.4%で、平成 21 年度が 70.0%。市民の利用は一定している。市が財政支援しながら運営している状況。こちらにも修繕工事を随時実施。

・以降、協議。質疑応答なし。

(会長)とりあえずは、新しい観光分科会で検討し、その内容を協議会にかけたいと考えますが、いかがか。

(一同)異議なし

5 報告事項 16:54 ~

(1) 平成 27 年度上田市防災訓練実施概要について(危機管理防災課)

・上田市の防災訓練は、平成 25 年度からそれまでの訓練のあり方を見直し、自助、共助を基本とした、市民が自ら考え、行動する訓練に方針転換を行った。

・開催日時は 8 月 29 日の午前中。重点地区は丸子地域は依田地区。上田地域は別所温泉地区、真田地域は傍陽地区、武石地域は武石地区。

・今年度は、総合型の防災訓練。主会場として丸子北小学校及び北部体育館を中心に実施。約 100 団体の参加を予定。

・訓練の重点事項については、「自助・共助」を意識した地域防災力の向上等。今年度は新たに地震発生時の身の安全確保の目的で、アメリカで考案されたシェイクアウトという訓練も行う。その場でしゃがみ、机の下にもぐって頭を防護し、ゆれがおさまるまで待つというもの。

(2) 丸子まちづくり会議準備会からの報告について 17:02 ~

・7 月 14 15 日の 2 日間、宮城県大崎市松山地区と栃木県宇都宮市雀宮地区を先進地視察。

(3) 分科会及び研究会での検討状況について 17:06 ~

(ア) 丸子地域の子育て支援に関する分科会

・6 月 30 日に分科会を開催。7 月 11 日に上田市にじいろひろばを視察。

・試作品の「まるっ子カレンダー」について。

(イ) 公共交通に関する分科会

・6 月 30 日に分科会を開催。おもな検討は、ルート変更、車内に園児の絵の展示可否の検討等。

(ウ) 新しい観光分科会

・6 月 30 日に分科会を開催。情報発信用ホームページについての懇談、鹿月荘・クアハウスのあり方についての話など。

(エ) 旧カネボウ食堂棟利活用に関する研究会

・6 月 30 日、協議会、分科会の終了後、第 1 回会議を開催。以前の検討部会の内容等の確認。

6 その他

(1) 信州上田夏期大学の開催について

・今年度のテーマは「情報氾濫時代を生きる」。8 月 20 日から 9 月 11 日まで、全 5 回。

・別件で、丸子文化会館の自主事業のお知らせ。11 月 3 日文化の日、セレスホールにて、作曲家の大野雄二さんが率いるルパンティック・ファイブのジャズライブのお知らせ。

(2) 次回以降の会議日程について

第 5 回協議会 8 月 26 日(水) 午後 1 時 30 分 丸子地域自治センター 4 階講堂

第 6 回協議会 9 月 24 日(木) 午後 1 時 30 分 丸子地域自治センター 4 階講堂

(3) その他

・産業観光課より5月28日協議会での委員質問「腰越雇用促進住宅」に対して補足。雇用促進住宅、運営は現在、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構（旧雇用促進事業団）、入居募集については支援機構から委託を受けた一般財団法人SK総合住宅サービス協会（本部東京都）が代行。腰越については現在も募集中。ただ、雇用促進住宅は、平成19年6月22日閣議決定された「規制改革推進のための3ヵ年計画」により、遅くとも平成33年度までに譲渡・廃止を完了予定。上田市内には3箇所の雇用促進住宅（上田地域2、丸子地域1）。支援機構からの譲渡希望に対し、上田市は譲渡を希望しない旨の回答済。

・市民サービス課から、「爆パネル展～平和の大切さを考える～」のお知らせ。丸子地域自治センターでは、8月4日（火）から10日（月）の午前中まで。

7 平成27年度わがまち魅力アップ応援事業（第2回募集分）選考審査発表（非公開）
応募4団体中、2団体が採択となった。

8 閉会（17：30）

* 本日の分科会・研究会の開催なし